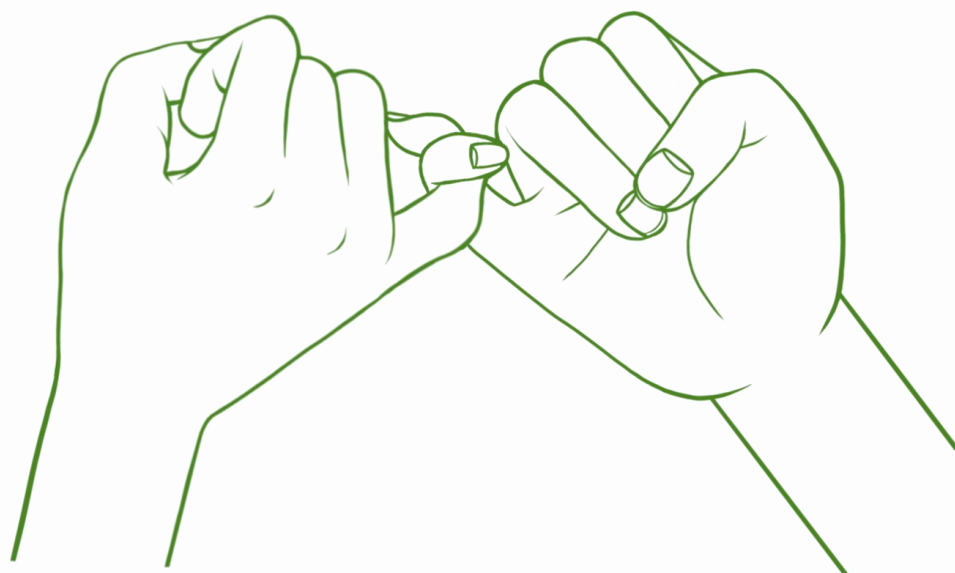


保健大学のお約束

OUR VISION

未来を見据えた人材育成を通じて、
すべての人々の「健やかさ」を豊かに



AUHW VISION BOOK





はじめに

青森県立保健大学は、青森県によって、健康科学部(看護学科、理学療法学科、社会福祉学科)を有する大学として、1999年に設立されました。その後、大学院を設置し、2008年からは栄養学科を加え、公立大学法人として新たなスタートを切りました。

設立当初より、私たちは以下の理念に基づき、地域に貢献する大学として四半世紀の歩みを重ねてきました。

理念



公立大学法人青森県立保健大学は、青森県の保健、医療及び福祉に係る諸課題の解決に向けて、「いのち」を育ててきた創造性と四季豊かな自然に恵まれた地域特性を生かした教育研究活動を進め、ヒューマンケアを実践できる人間性豊かな人材を育成するとともに、青森県立保健大学を地域に開かれた大学として地域社会、ひいては国際社会の発展に貢献します。

教育・研究・地域貢献活動を通じて、
私たちは以下の役割を果たし、社会に貢献していきます。

使命 Mission

ウェルビーイング

すべての人々の「健やかさ」を豊かに育む、
地域に根ざした大学であり続けます。

展望 Vision

人づくりは、未来づくり。多様な価値観と広い視野を
持ち、保健・医療・福祉の担い手を志す人材を育てます。

価値観 Values

「ヒューマンケア」の根底にある人と地域への思いやりを大切に、
DEI（多様性・公正性・社会的包摂）の観点から丁寧な教育と研究
を推進します。

青森県をはじめ、全国、そして海外から志を抱く学生を迎え入れ、自らの
可能性を追求する自由と創造性を大切に育成します。人々の「健やかさ」
(ウェルビーイング) を、誠意と情熱をもって支える専門職を社会に輩出し、
幅広い連携の中で地域の「健やか力」を創造していきます。

地域の皆様へ

地域の安心と元気を、保健大学からお届けします！

約25年の歴史の中で、看護師・保健師・助産師、理学療法士、社会福祉士・精神保健福祉士、管理栄養士・栄養教諭など、数多くの専門職を育成し、社会に送り出してきました。専門職として働きながら、さらに専門性を高めるために大学院で学ぶ方も多くいます。卒業生たちは、保健・医療・福祉施設、行政、学校、企業など、幅広い領域で皆様の健康と暮らしを支える専門職として青森県内外で活躍しています。

私たちは、皆様の「健やかさ」(ウェルビーイング)を支えるため、卒業生を含めた幅広い連携のもとで調査・研究を行い、その成果を皆様や専門職の方々の活動を支えるための知見として活用していただけるよう努めています。

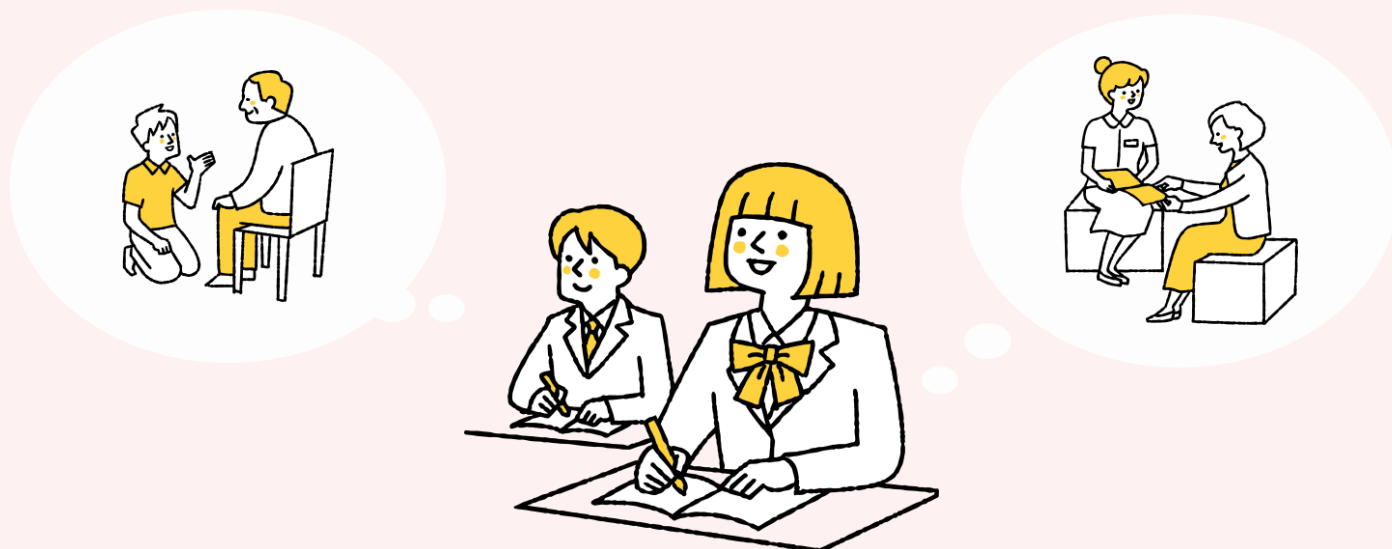


人口減少・少子高齢化が急速に進む社会において、真摯に学ぶ若者が集まる本学は、地域を活気づける存在です。地域の皆様とともに、学生たちがサークルやボランティア活動などで自由に、元気に活動する機会を広げていきます。また、地域で生活する外国人の皆様に対して、多様性を尊重して支援することのできる保健・医療・福祉の人材育成にも努めてまいります。

保健・医療・福祉専門職を目指す皆様へ (受験生の皆様へ)

保健大学で専門性を身につけ、
あなたの自由な未来を描きましょう!

保健大学の理念である「ヒューマンケア」は、保健・医療・福祉専門職にとって最も大切な考え方です。健康科学部の4年間を通じて、人や地域をより良く理解し、思いやりの心を持ち、人々の「健やかさ」(ウェルビーイング)を豊かにすることのできる専門職となるように、丁寧な教育を行っていきます。狭い世界に閉じこもることなく、幅広い視野をもって地球レベルで物事を考え、身近な地域で活躍できる人を育てたいと願っています。そのために、多職種(学科)連携科目を充実させ、地域の皆様のご支援による実習や課外活動の機会を広げています。さらに、国際的な視野を広げるための「グローバルヘルスプログラム」を新たに展開しています。



国家試験に合格して専門資格を取ることを目指して学習を進めていきます。しかしそれは大学4年間の通過点に過ぎません。皆様が専門職として活躍する頃には社会環境も大きく変わり、専門職としての役割や働き方も変化していることでしょう。そのような未来を見据え、卒業後も専門職としてのキャリアアップを図ることができるよう、支援していきます。

皆様の大切な4年間で充実したものとなり、わくわくとしたキャンパスライフを楽しむことができるよう、私たちは願っています。自由にあなた自身の未来を描くことができるように、全力で応援していきます。

地域の専門職、保健医療福祉施設の皆様へ

保健大学とともに、
地域の「健やかさ」を豊かにしていきましょう！

保健大学には、大学院（修士課程2年間、博士課程3年間）があり、地域で専門職として働きながら大学院で学ぶ方も多くいます。研究を進めて学術論文を作成するコースに加え、実践との結びつきが特に強いコースやプログラムとして、専門看護師（CNS：がん看護、感染看護、老年看護）、公衆衛生学修士（MPHプログラム）、修士（社会福祉学：実践課題コース）などがあります。

本学大学院の特徴は、多職種連携や学際的な複合領域での研究や教育を重視していることです。同じ職種のための研修や教育プログラムでは得られない、多様な価値観や視点からの学びが深まります。MPHプログラムでは、全国から地域医療等に従事する医師等も多く入学しています。授業や研究指導ではオンラインを最大限に活用し、講義も夜間や土・日曜日に集中させるなど、社会人や遠隔から学修する方への配慮を徹底しています。



保健医療福祉サービスの質向上につながる授業科目や研修、研究なども、多数行っています。保健大学は、青森県内の看護師、理学療法士、社会福祉士、栄養士等の各職能団体とも密接に連携しています。また、学生のキャリア支援等において、地域の関連施設との連携協力により、志の高い専門人材が青森県で活躍できるように努めてまいります。さらに、施設における課題解決に結びつくような調査・研究の計画・実施・分析なども支援します。

産業界、行政機関の皆様へ

地域の活性化とウェルビーイングのために、 共に歩みましょう！

人口減少が進む中、地方において「大学」が存在することは大きな意味があります。人づくりは、未来づくりです。日本全体で人口減少が急速に進む中、地域での新たな価値の創造や、困難を乗り越えて生き抜く力を備えた人材を、保健大学で育成していきたいと考えています。働き手不足が深刻な課題となる中、事業所と大学との連携によって働き場の魅力アップや専門人材のキャリアアップを進めていきます。

本学の大学院では保健医療福祉専門職としてアジアから来日して働く方を迎え入れ、活躍の場を広げるお手伝いをしています。「多文化共生社会」への対応は、地方行政においても喫緊の課題です。本学では、「グローバルヘルスプログラム」を立ち上げ、地域に暮らす外国人の方々に対し、保健医療福祉領域で支援できる人材育成にも努めています。



民間における新たなビジネスや価値の創出、行政機関における地域課題の解決などに関して、本学では、産学官民連携による研究開発事業なども積極的に受け付けています。この困難な時代だからこそ、身近にある大学を活用してください。地域の活性化とウェルビーイングのために共に歩んでいきましょう。



ほけんだい
保健大学の「地域貢献活動」のご紹介

01

地域を基盤とした学生の自主(サークル)活動

多くの学生が地域で活動しています。活動例を3つご紹介します。

おかずみそ汁 健やか力向上委員会



地域の健康寿命の延伸に向けて、だしの旨みを活かした減塩で具たくさん味噌汁の普及活動をしています。

ヘルスリテラシー 向上部



地域住民の“健康情報をさがして、わかって、つかえる”能力向上につながる活動をしています。

サークルめいと



献血推進の活動などボランティアのマッチングを学生自らが行っています。

02

学生や教職員のボランティア活動

ボランティアを求めている人と、ボランティアに興味のある学生・教職員を速やかに繋ぐ仕組み“ぼらまっちゃん”を運用しています。



「ボランティアを求めている団体の皆様」は
こちらから



03

教職員による地域の皆様と連携した活動

患者会の運営を推進したり、地域のこどもたちを支援する活動など、教員の専門分野を活かした継続した活動を行っています。

04

教員や大学院生による地域に役立つ調査・研究

青森県の発展に役立つ、青森県をフィールドとした研究が多くされています。

青森県産品の機能性の研究



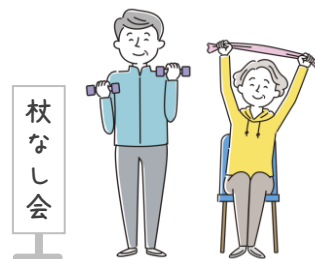
リンゴやナガイモなどの機能性について、ボランティアの方々に協力いただいで研究しています。

カシスの高付加価値化を目指した研究



カシスが秘める新たな保健機能を探索しています。

大学院生の地域研究 高齢者の運動に関する研究



地域の人たちの健康・生活に焦点を当てた研究をしています。

05

地域の皆様の「健やかさ」を豊かにする情報の提供

地域の皆様にとっての身近な学びの拠点として、ヘルスリテラシーの向上や豊かな暮らしにつながるテーマを選定し、公開講座を開催しています。



06

行政機関などとの連携による地域への貢献

教員のもつ専門的能力を活かし、県や市町村等に多くの委員を派遣しています。包括連携協定のもと、地域課題の解決に資する活動をしています。



活
動
例

看護管理人材育成支援
看護管理者教育課程

青森県看護協会と連携し、現場をリードする看護管理者を育成する教育を支援しています。

専門分野高度実践者育成支援
認定看護師教育課程

八戸市立市民病院と連携し、特定分野(クリティカルケア分野 | 集中ケア・救急・小児救急)の専門性を高める教育を支援しています。

健康増進活動支援

南部町と連携し、若年層の健康づくりを目的とした生活習慣病予防と心の健康診断を支援しています。

学生が『絵本』で伝える保健医療福祉職の魅力
— 県内での読み聞かせ活動 —



県内の子どもたちに対し、相手の人を想う気持ちを育むとともに、本学が養成する看護師、理学療法士、社会福祉士、管理栄養士といった国家資格専門職の魅力を伝えることを目的に、絵本制作・活用事業を実施しています。

教員が物語を考案し、学生が原画制作から色塗りまでを担当し、絵本『あのひとだあれ? ~おしえてコモリン、いろんなおしごと~』を完成させました。



現在は、データ版絵本を用いて、県内の保育施設等において読み聞かせ活動を継続的に実施しています。



青森県立保健大学の
マスコットキャラクター
モーリーとリンリン

キャラクター紹介

コモリン

モーリーとリンリンの
未来の子どもをイメージ
何でも教えてくれる妖精



ますみちゃん

おばあちゃん想いの
心優しい女の子
何にでも興味津々



この事業は、青森県立保健大学特定基金による寄附金を活用して運営しています。皆様からのご支援により、冊子体の絵本を県内図書館等へ寄贈することが可能となります。



ご寄附の
お願い

教育・研究・学生生活や施設整備に活用できる「一般基金」と、特定の目的を持つ「特定基金」を設置しています。皆様の暖かいご支援をよろしくお願いいたします。

詳しくは
こちらを
ご覧ください



////////////////////// お役立ち情報へのリンク ////////////////////////

青森県立保健大学
公式ホームページ

<https://www.auhw.ac.jp/>



研究 | 地域貢献活動

<https://www.auhw.ac.jp/promotion/>



青森県立保健大学
公式 Instagram

https://www.instagram.com/aomori_hokendai/



キャリア開発

<https://www.auhw.ac.jp/carrier/>





公立大学法人 AOMORI UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE

青森県立保健大学

保健大学のFACTデータ

所在地

〒030-8505 青森市大字浜館字間瀬 58-1

交通

青い森鉄道 東青森駅から徒歩 約10分

TEL

017-765-2000

FAX

017-765-2188

設置者

青森県

開学年

1999年（法人設立年 2008年）

学生定員

学部 885名 博士前期課程 46名 博士後期課程 24名
(修士課程) (博士課程)



マスコット
キャラクター

モーリーとリンリン®

国家試験・就職・学生支援等の詳しい情報はこちらから

青森県立保健大学 ファクトブック

<https://www.auhw.ac.jp/about/corp-info/auhw-graph.html>

